

## 第8回皮膚科光線療法推進の会主催 Web セミナー

### テーマ「皮膚科診療トピックス」

「皮膚科での遠隔診療を上手に使う～実践～」

「皮膚科在宅光線療法の多施設臨床研究報告」

日時：2020年10月18日（日） 13:00～15:00（予定）

目的：皮膚科光線療法の疑問を解決します。“治せるをキーワードに”日常診療に役立つ情報の提供。

対象：皮膚科医他（事前登録制）80名 形式：Webセミナー／質問表に事前に配布／プログラム配布

セミナー参加費：正会員 5,500円、賛助会員個人 5,500円、非会員 11,000円

事前登録時に Web セミナーと共催セミナーの参加費用は単独に を入れていただいても、両方に参加 を入れていただいても正会員 5,500円、非会員 11,000円のお支払いになります。

事前登録をお願いいたします。

時間	内容	
13:00～		
13:00-13:05	5 min	開会の挨拶 NPO 法人皮膚科光線療法推進の会理事長 森田明理先生 名古屋市立大学大学院医学研究科・加齢・環境皮膚科 教授
13:05-14:05	60 min	皮膚科トピックス 座長 森田 明理 先生
13:05-13:35	30 min	「皮膚科での遠隔診療を上手に使う～実践～」 「皮膚科クリニックでのオンライン診療の開発と運用」 日野亮介先生 医療法人 日野皮フ科医院 院長（福岡県福津市）
13:35-14:05	30 min	「皮膚科在宅光線療法の多施設臨床研究報告」 「ターゲット型ナローバンド UVB 治療器による在宅光線療法」 井汲今日子先生 名古屋市立大学大学院医学研究科・加齢・環境皮膚科 助教
14:05-15:00	55 min	質疑応答 日常診療において光線療法で困ったことや疑問にお答えします。 森田明理先生 NPO 法人皮膚科光線療法推進の会 理事長 日野亮介先生、井汲今日子先生

## Web セミナー【皮膚科での遠隔診療を上手に使う～実践～】



### 「皮膚科クリニックでのオンライン診療の開発と運用」

日野亮介(ひの りょうすけ)

医療法人 日野皮フ科医院 院長 (福岡県福津市)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多くの患者は不安の中過ごしている。そこで、厚生労働省も電話再診やオンライン再診の要件緩和、条件付きでオンライン初診を認めるなどの対処を矢継ぎ早に打ち出した。

オンライン診療などの要望が高まってくるのを受け、当院ではオンライン診療の仕組みを独自に開発することとした(コストをかけたくなかったから)。Zoho One という SaaS 型クラウドアプリケーションを使用していたので、その機能を利用してシステムを設計した。

申し込みフォームを作り、そこから得た患者情報を管理して予約の調整を行い、オンライン対面は外部アプリケーションの zoom と連携した。また、電話再診も可能とした。そして、請求書の発行、メール送信を行い、オンライン決済サービスの PayPal と連携して決済まで行うことも可能になった。

処方箋は FAX で送信、原本は郵送としている。このシステムを用い、2020 年8月までに 158 名の患者にオンライン診療を行った。その具体的な方法、満足度、利便性など患者アンケートの結果、今後の展望などについて概説したい。

略歴:平成 11 年 産業医科大学医学部卒業、同皮膚科入局 産業医科大学病院にて臨床研修医、専門修練医

平成 16 年 7 月～平成 18 年 6 月 スズキ(株)湖西(こさい)工場産業医

平成 18 年 7 月～産業医科大学皮膚科助手 平成 19 年 3 月～同、病棟医長 平成 19 年 4 月～同、助教(名称変更)

平成 22 年 8 月～産業医科大学皮膚科講師 平成 23 年 6 月～同、外来医長 平成 25 年 9 月～日野皮フ科医院 副

院長 平成 26 年 2 月～日野皮フ科医院 院長 平成 30 年 6 月～医療法人日野皮フ科医院 理事長 院長

所属学会:日本皮膚科学会、日本研究皮膚科学会(評議員)、日本乾癬学会(評議員)、日本免疫学会、日本臨床免疫学会、日本光医学・光生物学会、日本癌学会

受賞:平成 21 年 日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会 ポスター賞 平成 23 年 福岡県がん研究助成金

社会活動:

ふくおか乾癬友の会 相談医 山口乾癬患者会 相談医 Inspire Japan WPD project 顧問医師

日本臨床皮膚科医会九州ブロック 学術教育委員長 福岡県臨床皮膚科医会 理事

福岡地区皮膚科医会 理事 学術主務

## Web セミナー【皮膚科在宅光線療法の実施施設臨床研究報告】



### 「ターゲット型ナローバンドUVB 治療器による在宅光線療法」

井汲 今日子(イクミ キョウコ)

名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科 助教

皮膚科光線療法は十分な効果を得るためには週 2 回以上の通院が望ましい。しかしながら、学業・就業・介護その他負担に加え、昨今の COVID19 流行を鑑みると、通院頻度が治療上の障壁となる。このような状況で、在宅で安全にできる光線療法のニーズは高い。

本研究は AMED 医工連携事業化推進事業「在宅皮膚科光線療法支援システムの開発・事業化」プロジェクトにおける市販前の最終的な実証臨床研究で、在宅で光線治療を行うにあたり、十分な安全性及び有効性が確保できるかを確認することが目的である。

本研究は非盲検の他施設共同介入研究で、研究期間は jRCT 公開日～2020.8.31、対象は光線療法の対象疾患の患者とした。文書同意を得られた症例は 10 名で、内訳は尋常性乾癬 3 例・アトピー性皮膚炎 3 例・尋常性白斑 4 例であった。その結果、機器操作不具合が 1 例で、10 例中 9 例で問題なく治療を終了した。在宅で光線治療を行うにあたり問題となる、安全性に関わる不具合はなかった。

#### 略歴:

2013 年 名古屋市立大学医学部卒業

2020 年 同大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学 卒業

2020 年 より現職(助教)